

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】令和2年5月28日(2020.5.28)

【公開番号】特開2018-189310(P2018-189310A)

【公開日】平成30年11月29日(2018.11.29)

【年通号数】公開・登録公報2018-046

【出願番号】特願2017-92343(P2017-92343)

【国際特許分類】

F 24 F 13/20 (2006.01)

F 24 F 13/15 (2006.01)

【F I】

F 24 F 1/00 4 0 1 C

F 24 F 13/15 D

F 24 F 13/15 B

【手続補正書】

【提出日】令和2年4月15日(2020.4.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

一方向に所定間隔を有して並べられ、風向を変更する複数のルーバと、

前記一方向に延在するとともに各前記ルーバが回動自在に取り付けられ、長手方向に往復動する連結部材と、

前記連結部材に対して回動自在に取り付けられたリンク部材と、

該リンク部材を揺動させるモータと、

該モータを本体に対して固定するモータブラケットと、

該モータブラケットに設けられ、前記連結部材の先端に当接するストップと、
を備えていることを特徴とする空気調和装置の室内機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決するために、本発明の空気調和装置の室内機は以下の手段を採用する。

すなわち、本発明にかかる空気調和装置の室内機は、一方向に所定間隔を有して並べられ、風向を変更する複数のルーバと、前記一方向に延在するとともに各前記ルーバが回動自在に取り付けられ、長手方向に往復動する連結部材と、前記連結部材に対して回動自在に取り付けられたリンク部材と、該リンク部材を揺動させるモータと、該モータを本体に対して固定するモータブラケットと、該モータブラケットに設けられ、前記連結部材の先端に当接するストップとを備えていることを特徴とする。